月刊 星空の散歩道 2月号

2024年

2月上旬 21時ごろ
2月下旬 20時ごろ の空

ステラナビゲータ／
株式会社アストロアーツ

月や惑星・星座を探してみよう！

☆天文トピック☆

2月4日　立春

暦の上では春の始まり。前日の節分は豆をまいて邪気を払います。

2月15日　月と木星が接近

月のすぐ近くに明るい木星が見えます。

2月20～21日　月とポルックスが並ぶ

月の近くにふたご座のポルックスが見えます。カストルも探してみましょう。

☆月の形の変化☆

2月　3日	下弦	◑
2月10日	新月	●
2月17日	上弦	◐
2月24日	満月	○

☆2月の惑星☆

金星…明け方、南東の空低く
木星…日没後、南西の空

＜天文コラム＞　カストルは双子？

冬の星座のふたご座は、頭の部分に輝く一対の恒星、カストル（2等星）とポルックス（1等星）が目印の見つけやすい星座です。カストルとポルックスはギリシャ神話では双子の兄弟の名前ですが、その名を持つ2つの恒星は、地球から見て近くに見えているだけで、実際は 18光年以上離れていて、宇宙空間では全く無関係の星々です。

しかしながら、星の中には一見、1 つの星に見えますが、大きな望遠鏡で見ると、ようやく2つの星と見極められる星々があります。その中には、2つの恒星が重力で引き合って互いの周りを回っている「連星」が数多く見つかっています。実は宇宙に存在する恒星の約半数が連星と考えられています。（ちなみに私たちの太陽は周りを回る惑星がありますが、恒星としては1つであるため「連星」ではなく、「単独星」です。）

左の「2月の星空」に名前が紹介されている 10個の恒星の中で、7個が連星です。このうち、北極星が3重連星、レグルスとリゲルが4重連星、そしてカストルが6重連星と3つ以上の恒星による連星も珍しくありません。カストルは双子ではなく、「六つ子」の連星だったのです。

2月の星空

☆宵空の主な星座と明るい星☆（［　　］は連星）

南と天頂の空に冬の星座が、東の空に春の星座が見える。

＜西＞　アンドロメダ座、おうし座（アルデバラン）
＜天頂＞　ぎょしゃ座（カペラ）、ふたご座（カストル、ポルックス）
＜南＞　オリオン座（ベテルギウス、リゲル）、おおいぬ座（シリウス）、こいぬ座（プロキオン）
＜東＞　しし座（レグルス）
＜北＞　北極星、カシオペヤ座、おおぐま座

伊丹市立こども文化科学館　発行日　2024年1月20日
〒664-0839 兵庫県伊丹市桑津3丁目1-36　TEL：(072)784-1222
HP：http://business4.plala.or.jp/kodomo/